



# 5・1メーデー全国で闘われる



「コロナを理由に解雇するな」プラカードを掲げ京都市役所までデモ行進（5月1日 京都）

5・1 「労働者には社会を動かす力がある」  
京都 第三回京都メーデー

五月一日、京都では「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう！」が開催され、約七十名の労働者・市民が参加した。

この行動は、中小零細企業の労働組合などでつくるユニオンネットワーク・京都や、反戦・反原発・反差別などを闘う市民団体などによつてつくられる実行委員会が主催した。午前一〇時、メーデーのデモに先立つて、円山公園

内のラジオ塔前広場に集合した。まず、主催者から「今貴重な日。コロナ禍で、非正規労働者、女性や若者にしわ寄せがいっている。世界の労働者どつなかつて、こりつてることを次々と暴う」と呼びかけがあった。

国内外から寄せられた四つの連帯メッセージが紹介され、続いて来賓や実行委員会などから一三人が次々と発言した。原発や米

軍基地、特定秘密保護法や「デジタル庁」設置の動き、労働組合つぶしを狙う弾圧などが、自公一管政権の政策が資本の利益を守るために、労働者・市民を搾取・

収奪し、権利を奪うことを狙つてることを次々と暴露し、同時にそれとの闘いの報告を行なつた。

最後に、「戦争政策を進め、菅政権を打倒しよう。コロナ禍の緊急事態で、現場で働く労働者たちの仕事の大切さが再認識された。労

中之島公園剣先ひろばにて第九回中之島メーデーが開催された。昨年はコロナによる緊急事態宣言により、通常のメーデー集会は自粛せざるを得ず、各労組代表者によるメーデー街宣の出発集会（会場も変更）となんば島屋前でのメーデーアピールという特殊な形態での実施となつた。今年は例年通りの中之島公園での開催となり、会場も変更）となんば島屋前でのメーデーアピールといふ。

この間の安倍・菅政権の新型コロナ対策やその他の政策、また、大阪においては吉村、松井ら維新の政策を見れば、軍事強化やオリソニック、万博、大阪市廃止住民投票と自分たちと大資本の都合ばかりを優先し、肝心の人民の命と暮らしは後回しとなってきた。二年目、三度目の緊急事態は前回以上にやつらによる人災である。黙つていたら殺される。たとえ緊急事態宣言中であろうともメーデーの旗を降ろすわけにはいかない」とメーデー決行を決定した。

当日は新型コロナ対策を徹底して行つた。会場入りには検温、消毒ブースを四か所設置。もちろん、体温不良、発熱の場合は参加

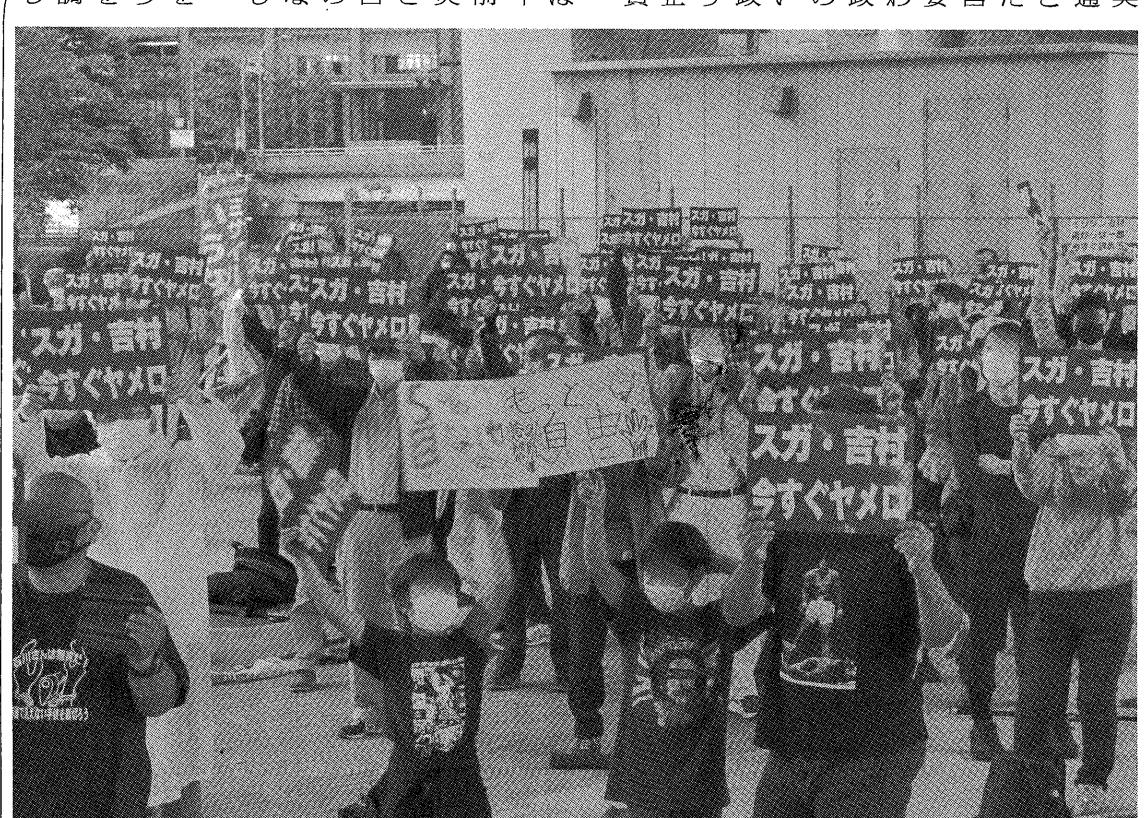
者には社会を動かす力がある。団結した労働者の闘いには社会を変える力がある。万国の労働者、団結せよ！」という力強いメーデードを掲げ、あるいはショーレビコールで、「コロナを

一宣言を参加者全体で採択するな」「長時間労働をなくそう」などと行進した。参加者はプラカードを掲げ、あるいはショーレビコールで、「コロナを

原因に解雇をするな」「長時間労働をなくそう」などと行進した。参加者はプラカードを掲げ、あるいはショーレビコールで、「コロナを

直面しているがゆえに、自衛隊を動員して大きく目立つ「コロナ対策」のパフォーマンスを打ち出したものとしか言い得ない。

コロナ禍の深刻化の中で労働者人民の命と生活、権利を第一に位置づけた政策をとるべきだ。東京オリンピック・パラリンピックは即刻中止せよ！



中之島メーデーを開催し労働者の団結をめぐらす（5月1日 大阪）

5・1 緊急事態宣言下で労働者の団結示す  
大阪 第九回中之島メーデー

五一日、大阪市北区の中之島公園剣先ひろばにて第九回中之島メーデーが開催された。昨年はコロナによる緊急事態宣言により、通常のメーデー集会は自粛せざるを得ず、各労組代表者によるメーデー街宣の出発集会（会場も変更）となんば島屋前でのメーデーアピールといふ。

この間の安倍・菅政権の新型コロナ対策やその他の政策、また、大阪においては吉村、松井ら維新の政策を見れば、軍事強化やオリソニック、万博、大阪市廃止住民投票と自分たちと大資本の都合ばかりを優先し、肝心の人民の命と暮らしは後回しとなってきた。二年目、三度目の緊急事態は前回以上にやつらによる人災である。黙ついたら殺される。たとえ緊急事態宣言中であろうともメーデーの旗を降ろすわけにはいかない」とメーデー決行を決定した。

当日は新型コロナ対策を徹底して行つた。会場入りには検温、消毒ブースを四か所設置。もちろん、体温不良、発熱の場合は参加

しないように周知された。各労組には労働員をかけないよう周知され、あくまでも組合員の自己判断による参加を呼び掛けた。それでも三〇人の仲間が結集し、集会資料が足りなくなつた。また、集会後のデモ行進は上げストから逃亡した流れ

で經營に屈服する労組の醜態を露わにした。この間の弾圧と闘いへの連帯に対する感謝の言葉を述べられたとともに、弾圧下で進む労働条件の切り下げや二〇一七年の運賃値上げストから逃亡した流れ

## 入管体制解体！

5・1

緊急事態宣言下で労働者の団結示す

大阪

第九回中之島メーデー

五一日、大阪市北区の中之島公園剣先ひろばにて第九回中之島メーデーが開催された。昨年はコロナによる緊急事態宣言により、通常のメーデー集会は自粛せざるを得ず、各労組代表者によるメーデー街宣の出発集会（会場も変更）となんば島屋前でのメーデーアピールといふ。

この間の安倍・菅政権の新型コロナ対策やその他の政策、また、大阪においては吉村、松井ら維新の政策を見れば、軍事強化やオリソニック、万博、大阪市廃止住民投票と自分たちと大資本の都合ばかりを優先し、肝心の人民の命と暮らしは後回しとなってきた。二年目、三度目の緊急事態は前回以上にやつらによる人災である。黙ついたら殺される。たとえ緊急事態宣言中であろうともメーデーの旗を降ろすわけにはいかない」とメーデー決行を決定した。

当日は新型コロナ対策を徹底して行つた。会場入りには検温、消毒ブースを四か所設置。もちろん、体温不良、発熱の場合は参加

しないよう周知された。各労組には労働員をかけないよう周知され、あくまでも組合員の自己判断による参加を呼び掛けた。それでも三〇人の仲間が結集し、集会資料が足りなくなつた。また、集会後のデモ行進は上げストから逃亡した流れ

で經營に屈服する労組の醜態を露わにした。この間の弾圧と闘いへの連帯に対する感謝の言葉を述べられたとともに、弾圧下で進む労働条件の切り下げや二〇一七年の運賃値上げストから逃亡した流れ

で經營に屈服する労組の醜態を露わにした。この間の弾圧と闘いへの連帯に対する感謝の言葉を述べられたとともに、弾圧下で進む労働条件の切り下げや二〇

# 第92回日比谷メーデー

## 日比谷野外音で集会

## 新橋駅前でスタンディング

5・1 東京

四月二十五日から東京では、コロナ感染拡大の三回目の非常事態宣言が出された。そのため、第九回日比谷メーデーは、主催実行委員会のスタッフと発言者の間で結集し、無観客・オンラインで開催した。約一時間、当初の式次第どおり



日比谷野外音楽堂に結集しオンライン中継でメーデー集会を開催  
(5月1日 東京)

は、コロナ感染拡大の三回目の非常事態宣言が出された。そのため、第九回日比谷メーデーは、主催実行委員会のスタッフと発言者の間で結集し、無観客・オンラインで開催した。約一時間、当初の式次第どおり

四月二十五日から東京では、コロナ感染拡大の三回目の非常事態宣言が出された。そのため、第九回日比谷メーデーは、主催実行委員会のスタッフと発言者の間で結集し、無観客・オンラインで開催した。約一時間、当初の式次第どおり



憲法集会に120名が結集 (5月3日 山口)

共産主義者同盟(統一委員会)

### 綱領・規約集

(2018年改訂版)

結成大会宣言

改訂綱領

戦術・組織テーマ

規約

2021年3月発行 定価 500円

〒120-0005 足立区綾瀬7-2-11 戰旗社

労働者階級人民の闘う指針

### 戦旗

定期購読しよう!

年間購読料(送料込)

開封6,300円 密封7,000円

定期購読のお申し込みは、下記宛てまでお願いします。

〒120-0005 足立区綾瀬7-2-11 戰旗社

連帯労組・やまぐちは、五月一日夕方、雨後の風吹きすぎの中を組合員と仲間に、「全国一律どこでも最低賃金一五一〇円に、非正規差別を許さないぞ！」八時間働いて人間らしく生活できる賃金を！」の声が鳴り響いた。横断幕や幟を持ち、腕章を付けて打楽器を打ち鳴らして歩いた。また、労働者が安心して暮らすため

に、反戦・反核・反原発・九条改憲反対も必要だと訴えて、買い物客の注目を集めめた。メーデーデモの最後に、山口市民会館前において一人一人が思いを語った。

五月三日午後、山口市民会館小ホールにおいて「憲法を活かす市民の会・やまぐち」と憲法を守る山口集会実行委員会の共催で「2021憲法を守る山口集会」が二二〇名の結集で開かれた。

「長いものに巻かれよ」という権威主義が、多くの人々に沈黙を強制して、弱く現実を、民主主義の破壊

として断罪された。この反論や自由をゆるさぬ空気

が社会の成長につながること

# 労働者の自己統治権力復権のために

## ソ連型計画経済批判

岩山昇

ソ連スターリン主義体制の崩壊（一九九一年）から三十年が経過した。当時、アメリカを中心とする世界資本主義体制が勝利したと喧伝されたが、資本主義の延命策として新自由主義政策が強まつた結果、貧富の格差、環境破壊が劇的に進行した。

そして今、コロナ禍で資本主義の矛盾の一切が世界の労働者人民に押し付けられている。ソ連は戦前・戦中を通して、曲がりなりとも「社会主義国家」を自称し、労働者は失業と無縁で、教育、医療、住宅、年金等を無償としてきた。これが戦後の資本主義体制への圧力となり、福祉国家政策を採用せざるを得なくなさせた面がある。しかし今や福祉政策は、多くの資本主義国において瀕死の状態である。そうしたなか、いま改めて、崩壊したソ連の計画経済について検証してみたい。

### マルクス・エンゲルスの

#### 社会主義経済についての basic 理念

ソ連の経済史に入る前に、マルクス主義の古典における社会主義経済論を振り返っておこう。

マルクス・エンゲルスは、資本主義的生産様式の性格と機能、そこに内在する矛盾について詳細な分析と批判を加えたが、それにとて代わる社会主義経済の構想については多くを語っている。

マルクスは『資本論』で述べている。「共同の生産手段で労働し自分たちのたくさんの個人的労働力を自分で意識して一つの社会的労働として支出する自由な人々の結合体を考えてみよう。」この結合体の総生産物は、一つの社会的生産物である。この生産物の一部分

ある。

ソ連では、労働時間は、同時に、共同労働への生産者の個人的参加の尺度として役

してい

る。

ソ連の経済史に入る前に、マルクス主義の古典に

ある。



# 狹山第三次再審勝利！

**差別除外主義の激化を許さず  
部落解放一日帝打倒で闘おう**

## 全国狭山闘争連絡会

各地の闘い

石川一雄さんの「見えない手錠」をなんとしても外していこうと、全国の闘う部落大衆が立ち上がりたい。

東京都墨田区では昨年四月、多くの地域住民等から二審(寺尾裁判長)は無期懲役判決といつて獄死攻撃を打たれ、「石川一雄さん・早智子さんに送るメッセージDV」が作成された。また昨夏の東京高裁裁判長交代にあわせて、狭山事件の事実に呼応し、全国狭山闘争連絡会(全狭連)は昨年五月より東京高裁前で毎月二三日にスタンディングを行なってい

裁判が成功にこぎつけた。

廣島県福山市では「狭山差別裁判糾弾！第三次再審勝利！」をテーマとした市民集会が開かれ、多くの人民の結集が勝ち取られた。毎月二三日(いわゆる23デー)には街頭でのスタンディングや情宣活動が継続して取り組まれている。この23デーの取り組みは、北九州市の地域公團や、熊本県の公團や、熊本市の「くまもと狭山住民の会」などにおいても同様に続けられている。

こうした全国での取り組みに呼応し、全国狭山闘争連絡会(全狭連)は昨年五月より東京高裁前で毎月二三日にスタンディングを行なってい

裁判が成功にこぎつけた。

廣島県福山市では「狭山差別裁判糾弾！第三次再

審勝利！」をテーマとした

差別裁判糾弾！ 第三次再

審勝利！」をテーマとした